

2025 年 10 月 入 学

東 京 都 立 大 学
大 学 院
システムデザイン研究科
システムデザイン専攻

学生募集要項
(博士後期課程)

- ・ 一般選抜
- ・ 社会人特別選抜
- ・ 国費外国人留学生特別選抜



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

大学院システムデザイン研究科 アドミッション・ポリシー (抜粋)

世界は大きく変わりつつあります。ものづくりや様々なサービスに関わる世界中の企業・組織そして機械までもがインターネットや衛星通信で結ばれ、人工知能を駆使して個人の嗜好を反映した今までにない価値が生まれ、生産性や利便性の大幅な向上が図られています。大学院システムデザイン研究科では、このような産業構造のダイナミックな変化に対応するために、従来の工学において普遍的に必要とされる要素技術の分析・解析能力に加え、工学に基づく製品やサービス全体をシステムとして捉え、機能と感性の融和を重視した総合的で分野横断的なシステム設計・開発能力を有する国際感覚をもった研究者・技術者を育成します。本研究科の5つの学域は、相互連携を重視しながら、専門分野の高度な知識と応用力・創造力、そしてそれらを基礎として涵養される問題発見・解決力を付与すべく研究教育を行っています。この教育目的に沿って自己研鑽し、最先端の研究開発・デザインに情熱を持って取り組むことのできる人を求めます。

情報科学域

1 理念

情報科学域では、情報科学に関する高度な専門知識・技術と国際的に通用するコミュニケーション力を基盤として、情報科学の進展に貢献する新たな理論や情報化社会を支える技術を開拓できる人材の育成を目指しています。

2 求める学生像

- (1) 先進的な情報科学の専門知識・技術をしっかりと身に付けている人
- (2) 情報処理技術、情報通信技術、それらの基盤となるシステム技術における新しい創造に対して主体的に取り組む意欲を持っている人
- (3) 国際的に通用するコミュニケーション力を有している人

3 入学者に求める能力

- (1) 情報科学に関する深い専門的知識と高度な技術
- (2) 自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する能力
- (3) 国際的な視野から情報科学の研究や技術開発を進めるために必要な語学力

電子情報システム工学域

1 理念

電子情報システム工学分野の高度で先端的な専門教育と課題研究を通して、情報システム技術及び電気電子通信システム技術に関する総合的知識を実践的に形成し、高度な課題解決や課題発見能力、高い倫理観及び使命感を兼ね備えた創造的な研究者並びに技術者の育成を行っていきます。

2 求める学生像

電子情報システム工学分野の研究の一翼を担う使命感を持ち、電子情報システム工学分野で卓越した知を創出することのできる人。

3 入学者に求める能力

- (1) 志望分野に関する深い専門的知識
- (2) 情報システム技術及び電気電子通信システム技術に関する専門的知識並びに専門分野のみならず広い分野の知識
- (3) 先駆的な研究課題を自ら設定することができ、課題を解決する能力
- (4) 使命感を持って研究に取り組み、技術開発を通して社会や環境へ貢献する意欲

機械システム工学域

1 理念

機械システム工学域では、都市生活における人間の安全性と快適性及び地球環境や社会の持続可能性に配慮した先進の機械システム工学の教育を基盤とし、学際分野、未開拓分野にも対応可能な高度な創造性や卓越した応用展開力を有する技術者・研究者を育成することを目的としています。

2 求める学生像

機械システム工学分野の研究の一翼を担う使命感を持ち、本分野で卓越した知を創出することのできる次のような学生を求めます。

- (1)機械制御・メカトロニクス、サービス情報・ロボット工学等の智能機械システムの研究分野をより深く探求したい人
- (2)ナノマイクロ等の機械創成の研究分野をより深く探求したい人
- (3)再生医工学・医用生体工学・生体材料、人間工学・福祉工学等の生体機械システムの研究分野をより深く探求したい人

3 入学者に求める能力

- (1)志望分野に関する深い専門的知識
- (2)機械システム工学の研究を通じて学術の高度化に寄与する能力
- (3)志望分野において（分野を横断して）、先駆的な研究課題を自ら設定することができ、課題を解決する能力

航空宇宙システム工学域

1 理念

最先端の総合工学の結晶である航空機、ロケット及び人工衛星等の航空宇宙システムは、今日では移動手段・情報通信・気象予報等、現代社会を支える基盤技術となっています。航空宇宙システム工学域では、航空宇宙分野はもとより次世代科学技術の発展を担うことができるような応用能力に富み、広い視野を持った卓越した研究者・技術者を育成することを目的としています。

2 求める学生像

航空宇宙工学における各専門分野の研究の一翼を担う使命感を持ち、当該分野で卓越した知を創出することのできる次のような学生を求めます。

- (1)先進的な航空宇宙工学を習得し、優れた研究成果をあげることができる十分な博士前期課程相当の学力・研究能力を有する人
- (2)自然科学に関する論理的な思考力・表現力、新たな理論を構築できる柔軟な洞察力を有する人
- (3)多様な考えを持つ人たちと主体的に協働する力を有する人

3 入学者に求める能力

- (1)志望分野に関する深い専門的知識
- (2)航空宇宙工学の研究活動を通じて学術の高度化に寄与する卓越した能力
- (3)志望分野において、分野を横断する広い視野から先駆的な研究課題を自ら設定し、課題を解決する卓越した能力

インダストリアルアート学域

1 理念

VUCA時代となり、社会の価値観の変化や技術革新の進展が著しい中で、これらに迅速に対応し、時代を先導できる柔軟で革新的な発想力を持ったクリエイターが強く望まれています。そのため、インダストリアルアート学域では、国際的視野を持ち、最新のアプローチによるデザインを創造・研究・実践するとともに、社会の枠組みの変化さえ先導しようと発想するパイオニアを育成することを目的としています。

2 求める学生像

- (1)プロダクトデザイン、メディアアートの分野に関わる世界の先端的課題に創造的に挑む使命感を持っている人
- (2)人間・環境・もの・情報・システムに関わる意味や感覚に鋭敏に感応し、それらに新しい形を与える洞察力や総合力を培い高め磨くことに卓越している人

3 入学者に求める能力

- (1)志望分野に関する深い専門的知識
- (2)デザイン学の研究を通じて学術の高度化に寄与する能力
- (3)志望分野において先駆的な研究課題を自ら設定することができ、課題を解決する能力

※アドミッション・ポリシーの全文は本学ホームページにてご確認ください。

URL (https://www.tmu.ac.jp/entrance/graduate/admission_policy/sd.html)

目次

1	本文	1
2	特記事項（一般選抜）	10
3	特記事項（社会人特別選抜）	11
4	特記事項（国費外国人留学生特別選抜）	12
5	博士後期課程の概要	13
6	指導予定教員一覧	16
7	出願書類様式	21
8	連絡及び問い合わせ先	巻末

【本文】

本項に加え、選抜区分ごとの特記事項を P. 10 以降に記載しているので、志願する選抜区分の特記事項も必ず確認してください。

1 募集学域及び募集人員

学 域 名 Department	募集人員		
	10 月入学		
	一般選抜	社会人 特別選抜	国費外国人 留学生 特別選抜
情報科学域 Department of Computer Science (CS)	若干名	若干名	若干名
電子情報システム工学域 Department of Electrical Engineering and Computer Science (EECS)	若干名	若干名	若干名
機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering	若干名	若干名	若干名
航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics	若干名	若干名	若干名
インダストリアルアート 学域 Department of Industrial Art	若干名	若干名	若干名

- (注1) 各学域の領域/分野、研究内容及び指導予定教員は、本要項 (P. 16～20) に記載されています。
志願者は、出願する前に必ず希望指導教員と連絡を取ってください。
なお、電子情報システム工学域以外の志願者は、受験承諾書が必要です。(P. 4 「4 出願書類」参照)
- (注2) 国費外国人留学生 (日本政府 (文部科学省) 奨学金留学生) は、国費外国人留学生特別選抜に出願してください。その他の選抜区分を併願することはできません。また、その他の外国人留学生は、一般選抜に出願してください。

2 出願資格

(1) 出願資格

選抜区分により該当する出願資格が異なるので、P. 10以降の選抜区分ごとの特記事項を必ず確認してください。

また、⑤又は⑥に該当する者は、「(2)出願資格認定審査」を必ず確認すること。

- ① 修士の学位若しくは専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者又は2025年9月30日までに取得見込みの者
- ②外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2025年9月30日までに学位を授与される見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2025年9月30日までに授与される見込みの者
- ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2025年9月30日までに授与される見込みの者
- ⑤文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- ⑥本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳（2025年10月1日現在）に達した者

(2) 出願資格認定審査

上記(1)⑤又は⑥によって出願する者は、出願書類を提出する前に出願資格認定審査を行いますので、下記により申請書類を東京都立大学日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に簡易書留にて郵送してください（送付先住所は巻末を参照）。ただし、国費外国人留学生は出願資格認定審査を免除します。

なお、日本語又は英語以外の書類には、訳文（日本語又は英語）を添付してください。

また、出願資格認定審査申請時に成績証明書等を提出した場合、内容に追加等がない場合は、出願時に別途成績証明書等を提出する必要はありません。

※出願資格認定審査を行った場合でも、受験するためには出願受付期間中に出願書類を提出する必要があります。

※出願資格認定審査については不明な点がある場合には、日野キャンパス学務課教務係入試担当に相談してください。

ア 申請書類

No.	提出書類等	注意事項
1	出願資格認定審査申請書【P. 21】	本募集要項所定の様式にて提出してください。
2	最終学歴修了（卒業）証明書（原本）	出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。（高等専門学校の場合は、本科・専攻科両方のものを提出）
3	最終学歴成績証明書（原本）	出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。（高等専門学校の場合は、本科・専攻科両方のものを提出）
4	研究業績書【P. 28】	本募集要項所定の様式にて提出してください。

5	返信用封筒（1枚）	・長形3号封筒に、別紙「①返信用封筒貼付用宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して提出してください。モノクロ印刷の場合には、「速達」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。 ・住所、建物名、部屋番号は正確に記入してください。宛名不完全や切手の料金不足で大学へ返送された場合は、改めて宛名ラベルをご提出いただく場合がございます。その場合は、結果通知が遅くなる可能性がございますので、ご注意ください。 ・郵送途中で剥がれないよう、紙の全面に糊付けをしてください。 ア 出願資格認定審査結果通知用封筒 郵便切手 410 円分(110 円＋速達料金 300 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額)を貼ってください。
---	-----------	--

イ 受付期間（簡易書留により郵送すること。その他の提出方法は認めません。）

2025 年 4 月 8 日（火）必着

封筒余白に「出願資格認定審査申請（〇〇学域志望）」と朱書きしてください。

なお、郵便事情による遅配及び未着の責は負えませんので、了承願います。

ウ 認定結果の通知

認定結果の通知が、出願受付期間初日の1週間前を過ぎても届かない場合には、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。

(3) 受験上及び修学上特別な配慮を希望する者の出願について

身体障がいなどで受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、事前に下記要領で申し出てください。本研究科所定様式はシステムデザイン研究科ホームページからダウンロードしてください。

ア 申請受付期間

2025 年 4 月 1 日（火）～4 月 7 日（月）

イ 提出書類

- ・大学院システムデザイン研究科入学試験にかかる協議申込書（本研究科所定様式）

ウ 提出方法

日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当（admission-sd@jmj.tmu.ac.jp）へ電子メールで提出してください。

(4) インターネットを用いた口頭試問について

インターネットを用いた口頭試問を希望する者は、出願前に希望指導教員に申し出てください。

3 出願期間及び方法

出願書類を下記により、東京都立大学日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に郵送してください（送付先住所は巻末を参照）。

2025 年 4 月 30 日（水）から 5 月 1 日（木）まで（5 月 1 日必着）

※ 4 月 30 日以前に到着した場合も受け付けます。

※ 出願書類等は、必ず「簡易書留」及び「速達」扱いにして郵送してください。その他の提出方

法は認めません。なお、海外からの出願は、日本国内の代理人から郵送してください（代理人がいかにしても見つからない場合は、必ず事前に日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当へご連絡ください）。また、到着状況の照会には応じません。郵送状況を追跡できるサービスをご利用ください。

※ 出願書類等は、市販の角形2号封筒の表と裏に、別紙「封筒貼付用宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して郵送してください。モノクロ印刷でも受付可能ですが、その場合には、「簡易書留」「速達」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。なお、裏側の用紙にはチェック欄がありますので、送付前の最終確認の際にご利用ください。また、該当する出願書類を以下番号順に揃えて封入してください。

※ 受験票が試験日の1週間前になっても到着しない場合は、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。

4 出願書類

出願書類は日本語又は英語で明瞭に記入してください。日本語又は英語以外の書類には、訳文（日本語又は英語）を添付してください。

書類全般に係る注意事項					
・ 出願前に必ず希望指導教員へ連絡を取ってください。 ・ 書類に不備がある場合は不受理となります。記入漏れ、提出漏れが無いようによく確認してください。 ・ 本募集要項所定の様式の印刷には A4判の用紙を使用し、全て片面印刷としてください。文書のレイアウトを崩さないこと（レイアウトが崩れている場合は再提出となることがあります。）。 ・ PCでの入力が可能です（署名は自筆で行うこと）。 ・ 手書きの場合は、耐水性の黒ボールペンを使用し、鉛筆やシャープペンシルやフリクションペン等の消せる筆記具は使用しないでください。 ・ 日本語又は英語以外の出願書類には、訳文（日本語又は英語）を添付してください。翻訳者の氏名及び連絡先を明記してください。翻訳は本人が行っても構いません。ただし、卒業論文及び研究論文等は表題のみ日本語訳を添付してください。 ・ 提出された出願書類はいかなる事情があっても返却しません。					
No.	出願書類等	注意事項	該当者		
			一般	社会人	国費
1	志願票・履歴書 【様式1】	・ 選抜区分ごとに様式が異なるので注意してください。 - ア 一般選抜・国費外国人留学生特別選抜【P. 22・23】 - イ 社会人特別選抜【P. 24】 ・ 志望領域/分野名及び希望指導教員名を必ず記入してください。	○	○	○
2	写真票 【様式2】	・ 本募集要項所定の様式にて提出してください。3ヶ月以内撮影の上半身、脱帽の写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。	○	○	○
3	受験票 【様式2】	・ 本募集要項所定の様式にて提出してください。	○	○	○
4	入学考査料証明書添付用紙 【様式2】	・ 本募集要項所定の様式に貼付し、提出してください。詳細は「5 入学考査料の支払いについて」(P. 7)を参照してください。事由により免除となる場合は、様式の該当欄にチェックを入れてください。 ・ 東京都立大学大学院の博士前期課程を 2025 年 3 月に修了した	○	○	○

		者又は 2025 年 9 月までに修了見込みの者が東京都立大学大学院博士後期課程に出願する場合は、入学考査料の徴収を免除します。			
5	連絡用宛名用紙 【様式 2】	本募集要項所定の様式に送付先の郵便番号、住所、氏名を記入してください。合格者への入学手続案内送付（2025 年 9 月以降）の際に使用します。出願後に住所の変更があった場合は、速やかに日野キャンパス学務課入試担当に届け出るとともに、郵便局で郵便物転送のための手続を行ってください。（氏名記入欄の「様」を消さないこと。）	○	○	○
6	受験承諾書 （電子情報システム工学域以外） 【様式 3】	志願票に記入した第一希望の希望指導教員が署名したもの（スキャンしたものでも可）。	○	○	○
7	教員に連絡を取ったことを示すもの（電子情報システム工学域のみ）	志願票に記入した第一希望の希望指導教員に連絡を取ったことを示すもの（教員からの返信メールをプリントしたものなどでも可）。	○	○	○
8	研究計画書 【様式 4】	- 入学後の研究計画（研究テーマ等）を、5 枚程度にまとめてください。 - 用紙は本募集要項所定の用紙を複写して、使用してください。 - 研究計画書の内容は、選考を実施する上で重要な判断要素となるため、具体的かつ詳細に記述するよう努めること。なお、計画書には必ず表題を付すこと。	○	○	○
9	成績証明書 （※注）	出身大学長又は研究科長が作成したもの（原本）	○	○	○
10	修了証明書等 （※注）	「1 出願資格」(P. 2) の(1)①から④に該当する者については、修士（博士前期）課程の修了（見込）証明書（又は学位授与（見込）証明書）（原本） 「1 出願資格」(P. 2) の(1)⑤又は⑥に該当する者については、学部等の卒業証明書（原本）	○	○	○
11	研究論文等（インダストリアルアート学域以外）	研究論文、著書、技術報告、特許及び実用新案等業績評価に必要な資料（修士（博士前期）課程修了見込みの者は、修士論文／修了制作の中間報告書）	○	○	○
12	ポートフォリオ又は論文 （インダストリアルアート学域のみ）	- インダストリアルアート学域に志願する者は必ず、これまでの勉学の成果を示すポートフォリオ又は論文を提出してください。修士論文又は修士研究の概要をポートフォリオの中にも含めても結構です。 - ポートフォリオが指定の封筒に入らない場合は、出願期間中に別の封筒にて日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当まで郵送する（封筒に「ポートフォリオ在中」と朱書きすること）か、日野キャンパス学務課窓口を持ち込んでください。ただし、ポートフォリオ以外の出願書類は、必ず指定の封筒で郵送し、ポートフォリオは別に送る旨のメモを同封してください。	○	○	○
13	研究業績書 【様式 5】	- 社会人特別選抜に志願する者のみ提出してください。 - 本募集要項所定の様式にて提出してください。		○	
14	業務経歴書 【様式 6】	- 社会人特別選抜に志願する者のみ提出してください。 - 本募集要項所定の様式にて提出してください。		○	

15	推薦書 【様式7】	・社会人特別選抜に志願する者のみ提出してください。 ・本募集要項所定の様式にて提出してください。 ・企業等の所属長が作成し、厳封したものに限りです。ただし、個人事業主については、出身大学の指導教員又は本人をよく知る者が作成した推薦書に代えます。		○	
16	研究上の技術情報に関する誓約書 【様式8】	・外国人の方のみ 日本語版・英語版のどちらか一方を提出してください。	○	○	○
17	国費外国人留学生の証明書	・国費外国人留学生特別選抜に志願する者のみ提出してください。 - ア 日本国内在住の志願者 研究生等として所属する大学（学部等）が作成したものを提出してください。 ※東京都立大学研究生等は、提出不要です。 - イ 日本国外在住の志願者 大使館推薦の国費外国人留学生は、日本政府（文部科学省）が作成した採用通知書の写しを提出してください。採用候補者は、事前に日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。 ※大学推薦の国費外国人留学生は、提出不要です。			○
18	住民票記載事項証明書	・外国人の方のみ市区町村長発行の「住民票記載事項証明書」を提出してください。なお、個人番号の記載は不要です（外国人登録をしていない場合は、身分を公的に証明できるもの（パスポート等）の写しを提出してください。）。	○	○	○
19	留学ビザ取得・更新サポート申込書 【別紙1】	・外国人の方のみ提出。（ただし在留資格が「永住」の方を除く）	○	○	○
20	返信用封筒（2枚）	・長形3号封筒に、別紙「②返信用封筒貼付用宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して提出してください。モノクロ印刷の場合には、「特定記録」「速達」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。 ・住所、建物名、部屋番号は正確に記入してください。宛名不完全や切手の料金不足で大学へ返送された場合は、改めて宛名ラベルをご提出いただく場合がございます。その場合は、受験票の送付及び結果通知が遅くなる可能性がございますので、ご注意ください。 ・郵送途中で剥がれないよう、紙の全面に糊付けをしてください。 - ア 受験票等送付用封筒 郵便切手 620 円分(110 円＋速達 300 円＋特定記録郵便 210 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額) を貼ってください。 - イ 可否結果送付用封筒 郵便切手 620 円分(110 円＋速達 300 円＋特定記録郵便 210 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額) を貼ってください。	○	○	○

＊注：原則は原本の提出以外認めませんが、海外の大学出身者で、生涯に1通しか発行されない等、原本を提出できない事情がある場合には、以下の対応のうえ書類を準備してください。

- ・証明書のコピーに原本証明（原本と相違ない旨を出身大学が証明・押印）をしたものを提出すること。

- ・出身大学が原本証明できない場合には、証明書の原本を本学へ提出すること（原本は返却します）。
- ・原本が pdf 等の電子データのみしか発行していない場合は、出身大学から直接本学へデータを送付するように依頼すること。
- ・上記いずれの対応も不可能な場合は、早めに、必ず事前に日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当へ連絡すること。

5 入学考査料の支払いについて

入学考査料（30,000 円）の支払方法等は下記のとおりです。

(1) Web による支払い（E-支払いサイト）

- ・納付方法の詳細は、別紙「東京都立大学システムデザイン研究科（日本国内からの出願） 入学考査料払込方法」を参照してください。
- ・E-支払サイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込のうえ、コンビニエンスストア、ペイジー対応の ATM、ネットバンキング、クレジットカード、又は銀聯網決済により納付してください。（日本国外から支払の場合は、クレジットカード、Alipay 国際決済（支付宝）、銀聯網決済のみ。）なお、振込手数料は各自で負担してください。

《①日本語サイトからの支払い》

支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り、本募集要項所定様式【様式 2】に貼り、提出してください。

《②英語サイトからの支払い》

支払後、印刷した「Result Page」を出願書類と共に提出してください。

	支 払 期 限
10 月入学	2025 年 4 月 16 日（水）から同年 5 月 1 日（木）まで

（注）E-支払サイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上の FAQ 又は「よくある質問 (<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>)」を参照したうえで、E-サービスサポートセンターへ問い合わせてください。

(2) 入学考査料の免除について

本学が指定する自然災害（東日本大震災、令和 2 年 7 月豪雨、令和 6 年能登半島地震）により本人又は主たる学資負担者が被災した志願者は、入学考査料を免除する場合がありますので、入学考査料の支払い前に、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。

6 試験日時及び試験科目等

学 域	試 験 日（※ 1）	試験科目等	試験時間
情報科学域	2025 年 5 月 23 日（金）	口頭試問	出願後本人に通知
電子情報システム工学域			
機械システム工学域			
航空宇宙システム工学域			
インダストリアルアート学域（※ 2）			

(※1) インターネットを用いた口頭試問により試験を実施する者については別途指定する。

(※2) インダストリアルアート学域の口頭試問では、出願時に提出してあるポートフォリオ・論文に関する説明を求めることがあります。

(注) 2025 年 5 月 30 日 (金) を試験実施予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験実施予備日に実施することがあります。詳細は、システムデザイン研究科ホームページ (<https://www.sd.tmu.ac.jp/>) にて周知します。

7 試験会場

東京都日野市旭が丘 6 丁目 6 番地

東京都立大学 日野キャンパス

又は本研究科が指定する場所

8 合格者発表

2025 年 6 月 27 日 (金) 午前 10 時

発表日時から 7 日間に限り、システムデザイン研究科ホームページ (<https://www.sd.tmu.ac.jp/>) に掲載します。また、発表日時以降に郵送により本人あてに通知します。電話等による可否の問い合わせには応じません。

9 入学時期

2025 年 10 月

10 入学手続

合格者に別途通知します (入学手続は 2025 年 9 月予定)。

11 その他

(1) 出願書類に欠落がある場合は不受理となります。

(2) 出願を受理した後は、一度納付した入学考査料は返還しませんので、出願については十分に検討したうえで納付してください。

入学考査料を振り込んだが出願しなかった場合、又は入学考査料を誤って二重に振り込んだ場合は、入学考査料の返還を申請することができます。

詳細は、本学のホームページ

(https://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html) をご確認ください。

「トップページ」→「入試案内」→「大学院入試」→「入学考査料・入学料・授業料」

(3) 入学許可を受けた者が出願資格を失った場合は、入学許可を取り消します。

(4) 入学許可後であっても、出願手続又は受験に不正があったと認められたときは、入学許可を取り消します。

(5) インダストリアルアート学域では合否通知の際、ポートフォリオの返却期間を案内しますので、期間内に受取りください。万が一この期間内に受取がない場合は本研究科で廃棄処分します。

(6) 入学料は郵便局を除く金融機関の窓口から振込みをしてください。振込方法は別途連絡します。

・入学料：東京都の住民 141,000 円 (予定額)

それ以外の者 282,000 円（予定額）

- ・「東京都の住民」とは、本人又はその者の配偶者若しくは一親等の親族が、入学の日（2025 年 10 月 1 日）の 1 年前（2024 年 10 月 1 日）から引き続き東京都内に住所を有する者をいいます。その認定は、本人が東京都内に在住の場合は本人の「住民票記載事項証明書」、その他の場合は、東京都内に在住する親族等の「住民票記載事項証明書」及び本人との親族関係を明らかにする戸籍抄本等により行います。

- (7) 授業料 年額 520,800 円（予定額）は、前期と後期の指定された期日までに、それぞれ年額の 2 分の 1 を口座振替により納めることになります。
- (8) 入学料及び授業料は、入学時又は在学中に授業料等の改定があった場合には、改定後の金額が適用されます。なお、入学料と授業料には免除又は減額等の制度があります。
- (9) 東京都立大学大学院の博士前期課程を 2025 年 3 月に修了した者又は東京都立大学大学院の博士前期課程を 2025 年 9 月までに修了見込みの者が、東京都立大学大学院博士後期課程に入学する場合は、入学料の徴収を免除します。
- (10) 東京都立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京公立大学法人安全保障輸出管理規程」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、注意してください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理のホームページを参照してください。

<https://www.tmu.ac.jp/cooperation/compliance/exportcontrol.html>

12 個人情報の取り扱いについて

東京都立大学では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 本学への出願の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選考実施及び合格発表）及び入学手続きを行うために使用します。
また、入学者の個人情報は、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために使用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成等に使用することがあります。

13 長期履修制度のお知らせ

本研究科では、長期履修制度を導入しています。制度の利用を希望する場合、申請手続が必要となります。詳しくは、出願する前に日野キャンパス管理部学務課教務係に問い合わせてください。

【特記事項（一般選抜）】

1 出願資格

(1) 出願資格

本文「2 出願資格(1)出願資格」(P. 2)の①から⑥のいずれかに該当する者
ただし、⑤又は⑥に該当する者は、事前に出願資格認定審査を行います (P. 2 参照)。

2 選抜方法

口頭試問、成績証明書、研究計画書、研究論文等（インダストリアルアート学域志願者はポートフォリオ又は論文）等を総合判定して合格者を決定します。

なお、口頭試問の試験日時等は本文「6 試験日時及び試験科目等」(P. 7)を参照してください。

また、希望する者に対しては、インターネットを用いた口頭試問を認めることがあります。申請方法は本文「2 出願資格 (4) インターネットを用いた口頭試問について」(P. 3)を参照してください。
(インターネットを用いた口頭試問の留意事項)

- ・本学が指定する口頭試問日時に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を確保する必要があります。
- ・受験生側の通信環境の問題で、音声、画像の良好な状況が確保できない場合、欠席扱いとなる場合があります。

【特記事項（社会人特別選抜）】

1 概要

- (1) この選抜は東京都立大学大学院システムデザイン研究科に入学を希望する社会人に対し、一般選抜試験とは別に行われるものである。
- (2) 本選抜試験を経て入学した学生は、一般選抜試験による入学者と全く同等に扱われる。

2 出願資格

(1) 出願資格

入学時までに企業等（※１）において２年以上（修士課程（博士前期課程含む。以下同じ）修了者（見込みの者を含む）については１年以上）正規の職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長等に認められ**在職のまま入学を希望する者**で、本文「**2 出願資格(1)出願資格**」(P. 2)の①から⑥のいずれかに該当する者（※２）

（※１）「企業等」とは、**民間企業、官公庁、教育機関、研究機関等**をいいます。なお、民間企業の中に個人事業主を含みます。

（※２）⑤又は⑥に該当する者は、**事前に出願資格認定審査を行います**（P. 2 参照）。

3 選抜方法

口頭試問、業務経歴書、研究業績書、研究計画書、研究論文（修士論文、修了制作資料を含む。インダストリアルアート学域志願者はポートフォリオ又は論文）、推薦書、成績証明書、受験承諾書等を総合判定して合格者を決定します。

なお、口頭試問の試験日時等は本文「6 試験日時及び試験科目等」(P. 7)を参照してください。

また、希望する者に対しては、インターネットを用いた口頭試問を認めることがあります。申請方法は本文「**2 出願資格(4) インターネットを用いた口頭試問について**」(P. 3)を参照してください。

（インターネットを用いた口頭試問の留意事項）

- ・本学が指定する口頭試問日時に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を確保する必要があります。
- ・受験生側の通信環境の問題で、音声、画像の良好な状況が確保できない場合、欠席扱いとなる場合があります。

【特記事項（国費外国人留学生特別選抜）】

1 概要

- (1) この選抜は東京都立大学大学院システムデザイン研究科に入学を希望する国費外国人留学生に対し、一般選抜試験とは別に行われるものである。
- (2) 本選抜試験を経て入学した学生は、一般選抜試験による入学者と全く同等に扱われる。
- (3) 東京都立大学大学院システムデザイン研究科の授業は原則として日本語で行われる。

2 出願資格

(1) 出願資格

日本国政府（文部科学省）国費外国人留学生のうち、長期に渡る留学に耐えられる健康状態の者で、本文「2 出願資格(1)出願資格」(P. 2)の②、③、④、⑤又は⑥のいずれかに該当する者

3 選抜方法

口頭試問、成績証明書及び研究計画書、研究論文等（インダストリアルアート学域志願者はポートフォリオ又は論文）等を総合判定して合格者を決定します。

なお、試験日時等は本文「6 試験日時及び試験科目等」(P. 7)を参照してください。

また、希望する者に対しては、インターネットを用いた口頭試問を認めることがあります。申請方法は本文「2 出願資格(4) インターネットを用いた口頭試問について」(P. 3)を参照してください。

（インターネットを用いた口頭試問の留意事項）

- ・ 本学が指定する口頭試問日時に、音声、画像とも良好な状況で通信可能な環境を確保する必要があります。
- ・ 受験生側の通信環境の問題で、音声、画像の良好な状況が確保できない場合、欠席扱いとなる場合があります。

博士後期課程の概要

【情報科学域】

情報科学域では基礎理論、アーキテクチャ、コンテンツを柱とするコンピュータサイエンスに基盤を置きつつ、特に「AI・データサイエンス分野」、「人間情報・知能情報分野」、「ソーシャル・マルチメディア分野」の三つの分野を柱としたコンテンツに関する最先端の技術を重視した教育研究を実施する。最新かつ実践的な知識と研究開発能力を身につけることができるようカリキュラムを構成することで、ダイナミックな産業構造を有し、急速な進展を続ける高度な知的社会の構築に貢献できる人材の育成を目指す。

(1) AI・データサイエンス分野

人工知能ならびにデータサイエンスなど最前線のあらゆる分野で用いられている先端技術に関する知識を修得する。主要科目は、情報科学特別講義1などである。

(2) 人間情報・知能情報分野

人間情報や知能情報など知的処理・システムの実現に関する先端技術に関する知識を修得する。主要科目は、情報科学特別講義2などである。

(3) ソーシャル・マルチメディア分野

ソーシャルメディアやマルチメディアなど現代社会に流通する多様なメディアの活用に関する先端技術に関する知識を修得する。主要科目は、情報科学特別講義3などである。

【電子情報システム工学域】

電子情報システム工学は、情報、通信、エレクトロニクス、エネルギーに代表されるように、現代社会を支える基盤技術であると同時に、先端・フロンティア技術でもある。新たな技術開発においても、電子情報システム工学の果たす役割は今後ますます重要なものとなることが予想される。このような背景を踏まえ、本学域では、電子情報システム工学分野の高度な専門教育と先端的課題研究を通して、「情報システム技術及び電気電子通信システム技術に関する体系的・総合的知識基盤を持つ創造的な技術者・研究者を育成すること」を基本理念としている。そして、「情報ネットワークシステム」、「通信システム」、「エネルギー情報システム」の3領域を電子情報システム工学における学問体系の主要な柱と位置づけ、これらの体系的・総合的知識に基づく高度な実践力、課題解決・発見能力、高い倫理観・使命感を兼ね備えた技術者・研究者の育成を目指している。

(1) 情報ネットワークシステム領域

ネットワークプロトコル、高信頼化技術、セキュリティ、故障解析・信号処理、ネットワーク最適化、オペレーションズマネジメント、人工知能応用などを扱う「情報ネットワーク分野」、およびディペンダブルコンピューティング、信頼性評価・理論、最適化理論応用、システムマネジメント、社会情報システム論などを扱う「社会情報システム分野」に関する教育・研究を行う。主要科目は、情報ネットワークシステム特別講義などである。

(2) 通信システム領域

電磁界、電気信号、超音波などを介した生体・生命体等の計測・評価などを扱う「医用工学・生体計測分野」、および電磁・光信号等を介した環境計測、電磁環境評価、環境についての予測や影響評価などを扱う「環境情報システム分野」に関する教育・研究を行う。主要科目は、通信

システム特別講義などである。

(3) エネルギー情報システム領域

情報・通信システムやセンシングシステムなどを支える機能デバイス・システム創成を扱う「機能デバイス・電子システム分野」、およびパワーエレクトロニクス、エネルギーマネジメント、電磁エネルギー応用、エネルギー・環境応用などを扱う「エネルギーシステム分野」に関する教育研究を行う。主要科目は、エネルギー情報システム特別講義などである。

【機械システム工学域】

機械システム工学域では、主体的な研究開発や問題解決を行うための高度な知識を獲得させるため、3つの基幹分野である「知能機械」、「機械創成」、「生体機械」に関する分野へ適用していく方法の観点から体系的・横断的に学修する環境を提供する。また、主要な科目として、知能機械システム特別講義がある。そしてこれらの学修を通じて、十分な基礎学力、論理的思考力、問題設定・解決能力、柔軟な思考と大胆な発想力、倫理観を併せ持つ人材を育成することを教育・研究の目標とする。

(1) 知能機械領域

「機械制御・知能化システム」および「サービス情報・ロボット工学」に関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、知能機械特別講義などである。

(2) 機械創成領域

「機能表面・ナノマイクロデバイス」と「機械材料・材料加工」に関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、機械創成特別講義などである。

(3) 生体機械領域

「医用工学・生体工学」および「人間工学・福祉工学」関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、生体機械特別講義などである。

【航空宇宙システム工学域】

教育研究の専門分野構成は、流体力学、推進システム工学、材料・構造工学、誘導制御工学、システム設計工学、宇宙利用工学の6分野からなる。各分野とも1つの特別講義と6つの演習科目（各半期）を用意している。

各分野の教育研究内容と講義科目は以下のとおりである。

(1) 流体力学分野

飛翔体の空力性能に関わる流れの諸問題や航空宇宙分野のさまざまな流体现象に関する教育研究を行う。主要科目は、航空宇宙流体力学特別講義である。

(2) 推進システム工学分野

航空機やロケットの推進システムや宇宙空間での移動のための電気推進に関する教育研究を行う。主要科目は、推進システム工学特別講義である。

(3) 材料・構造工学分野

航空機・ロケットの複合材料構造や耐熱材料、宇宙環境での材料プロセスに関する教育研究を行う。主要科目は、航空宇宙材料・構造工学特別講義である。

(4) 誘導制御工学分野

宇宙ロボット・宇宙テザーなどの宇宙インフラストラクチャの力学と制御、宇宙環境でのデブ

リ除去、航空交通管理ならびに航空機制御に関する教育研究を行う。主要科目は、航空宇宙誘導制御工学特別講義である。

なお、この分野の教育研究には連携大学院（宇宙航空研究開発機構、海上・港湾・航空技術研究所）の客員教授が加わる。

(5) システム設計工学分野

航空機・宇宙機を構成する要素設計、及びそのための数理的手法のほか、それらの機能確認やシステムインテグレーションに関する教育研究を行う。主要科目は、システム設計工学特別講義である。

(6) 宇宙利用工学分野

宇宙からの衛星を利用したリモートセンシング、光計測および宇宙でのトライボロジー技術、電磁情報流通及び電波利用技術に関する教育研究を行う。主要科目は、宇宙利用工学特別講義である。

なお、この分野の教育研究には連携大学院（宇宙航空研究開発機構、情報通信研究機構）の客員教授が加わる。

【インダストリアルアート学域】

インダストリアルアート学域では、「プロダクトデザイン」と「メディア創生」の2つの研究領域を基軸とし、多様に連携しながら最先端の研究を推進し、新しい価値の創造を展開していく。工学系デザインと芸術文化的な基盤を総合的に捉え、デザイン・アート分野の先進的研究者の育成および国際的にこの分野を先導する水準の創造・研究・実践者の育成を目指している。

各領域の教育研究内容と講義科目は以下のとおりである。

(1) プロダクトデザイン領域

交通機関、家電製品、工業製品、インテリア、空間などのデザインや人間工学など、人と環境双方からのアプローチによるデザイン教育・研究を行う。主要科目は、プロダクトデザイン特別講義などである。

(2) メディア創生領域

インタラクティブアート、映像、ヴァジュアルコミュニケーション、ネットワーク、ソフトウェアなどのデザインや文化編集など、先端メディア・テクノロジーおよびデザイン、芸術文化に関する教育・研究を行う。主要科目は、メディア創生特別講義などである。

博士後期課程 指導予定教員一覧(1)

学域名	分野名	教員 職・氏名	
情報科学域 Department of Computer Science (CS)	AI・データサイエンス Artificial Intelligence and Data Science	教 授	片山 薫
		教 授	高間 康史
		准教授	横山 昌平
	人間情報・知能情報 Human Informatics and Intelligent Informatics	教 授	岡本 正吾
		教 授	西内 信之
		准教授	下川原 英理
		准教授	福井 隆雄
		准教授	伏木田 稚子
	ソーシャル・マルチメディア Social Computing and Multimedia	教 授	會田 雅樹
		教 授	小野 順貴
		教 授	藤吉 正明
		教 授	松田 崇弘
		准教授	塩田 さやか
		准教授	杉村 大輔

博士後期課程 指導予定教員一覧(2)

学域名	領域名	教員 職・氏名	
電子情報システム工学域 Department of Electrical Engineering and Computer Science (EECS)	情報ネットワークシステム Computer Networks and Systems	教 授	朝香 卓也
		教 授	西川 清史
		教 授	福本 聡 ※2
		教 授	三浦 幸也 ※2
		准教授	酒井 和哉
		准教授	渋谷 正弘 ※1
	通信システム Telecommunications and Sensing Systems	教 授	内田 諭
		教 授	大久保 寛
		教 授	柴田 泰邦
		教 授	鈴木 敬久
		教 授	田川 憲男
		准教授	坂本 高秀
		准教授	佐藤 隆幸
	エネルギー情報システム Electrical Engineering (EE)	教 授	五箇 繁善
		教 授	須原 理彦
		教 授	朽久保 文嘉
		教 授	三浦 大介
		教 授	和田 圭二
		准教授	中村 成志

※1 2027 年 3 月定年退職予定

※2 2028 年 3 月定年退職予定

博士後期課程 指導予定教員一覧(3)

学域名	領域名	教員 職・氏名	
機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering	知能機械 Intelligent Mechanical Systems	教 授	小口 俊樹
		教 授	久保田 直行
		教 授	児島 晃
		教 授	下村 芳樹 ※
		教 授	武居 直行
		教 授	増田 士朗
		准教授	水上 孝一
		准教授	和田 一義
		連携大学院 教 授	安藤 慶昭
		連携大学院 教 授	大関 崇
		連携大学院 教 授	谷川 民生
		連携大学院 教 授	持丸 正明
	機械創成 Mechanical Innovation	教 授	小方 聡
		教 授	金子 新
		教 授	小林 訓史
		教 授	楊 明 ※
		准教授	清水 徹英
		准教授	菅原 宏治
		准教授	高橋 智
		連携大学院 教 授	瀬川 武彦
	生体機械 Biomechanical Engineering	教 授	小原 弘道
		教 授	角田 直人
		教 授	長谷 和徳
		教 授	藤江 裕道 ※
		教 授	三好 洋美
		准教授	坂元 尚哉

※ 2027 年 3 月定年退職予定

博士後期課程 指導予定教員一覧(4)

学域名	分野名	教員 職・氏名	
航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics	流体力学 Aerodynamics and Fluid Dynamics	准教授	稲澤 歩
		准教授	嶋村 耕平
		准教授	田川 俊夫
	推進システム工学 Propulsion Systems	教 授	各務 聡
		准教授	櫻井 毅司
	材料・構造工学 Materials and Structures	教 授	北薊 幸一
		准教授	鳥阪 綾子
	誘導制御工学 Guidance, Control and Dynamics	教 授	小島 広久
		教 授	武市 昇
		連携大学院 教 授	古賀 禎
		連携大学院 教 授	濱田 吉郎
		連携大学院 教 授	牧 緑
	システム設計工学 Systems Design Engineering	教 授	金崎 雅博
		教 授	佐原 宏典
	宇宙利用工学 Space Utilization Technology	教 授	石井 昌憲
		連携大学院 教 授	松本 康司
		連携大学院 教 授	諸橋 功

博士後期課程 指導予定教員一覧(5)

学域名	領域名	教員 職・氏名	
インダストリアルアート学域 Department of Industrial Art	プロダクトデザイン Product Design	教 授	笠松 慶子
		教 授	金 石振
		教 授	馬場 哲晃
		教 授	藤原 敬介
	メディア創成 Media Creation	教 授	楠見 清
		教 授	中安 翌
		教 授	向井 智彦
		准教授	安藤 大地

出 願 書 類 様 式

Application form

一般選抜

General Selection

社会人特別選抜

Special Selection for Working Adults

国費外国人留学生特別選抜

Special Selection of International Students Sponsored
by Japanese Government (MEXT) Scholarship

出願資格認定審査申請書

Eligibility Screening Application Form

フリガナ Phonetic		生年月日 Date of birth	年 月 日 Year Month Day
氏名 Name			
出願を 希望する学域 Preferred department	☐ 情報科学域 Department of Computer Science ☐ 電子情報システム工学域 Department of Electrical Engineering and Computer Science ☐ 機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering ☐ 航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics ☐ インダストリアルアート学域 Department of Industrial Art		
希望領域/分野及び 希望指導教員名 Preferred Field/Area and prospective supervisor	領域/分野 Field/Area	希望指導教員 Prospective supervisor	
現住所 Permanent address	〒(Zip)		電話 Phone number
緊急連絡先 Emergency contact	〒(Zip)		電話 Phone number
メールアドレス Email Address			
学歴 Educational Background	日本の教育課程の場合は高等学校卒業から、外国の教育課程の場合は小学校相当入学から入学年月、卒業年月共に記入すること。欄が不足する場合は職歴欄を使用してもよい。 (In the case of a foreign curriculum, write both entrance years and graduation years and months above elementary school. If no enough space, write in "Employment history" space.)		
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
職歴 Employment history			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			
Year 年 Month 月			



2025 年 10 月入学 東京都立大学 大学院システムデザイン研究科
一般選抜・国費外国人留学生特別選抜志願票 (博士後期課程)

APPLICATION FORM FOR ADMISSION

The doctoral program of Graduate School of Systems Design, Tokyo Metropolitan University

(General Selection and Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship, October 2025)

- 1 選抜区分 ☐ 一般選抜
General Selection
☐ 国費外国人留学生特別選抜
Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship

2 フリガナ Phonetic: _____

氏 名 Name: _____

生年月日 Date of birth : 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

Year Month Day

性別 Sex : ☐ 男 Male ☐ 女 Female / 年齢 Age : _____

国籍 (外国人のみ記入) Nationality : _____

メールアドレス Email Address : _____

3 志望する学域／領域／分野／希望指導教員 Preferred Department/Field/Area/ Prospective supervisor

- ☐ 情報科学域 Department of Computer Science
☐ 電子情報システム工学域 Department of Electrical Engineering and Computer Science
☐ 機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering
☐ 航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics
☐ インダストリアルアート学域 Department of Industrial Art

志望領域/分野 Field/Area : _____

希望指導教員名 Prospective supervisor : _____

4 出身大学等 Alma mater

国立・公立・私立・その他 National/Public/Private/others (Choose one)

大学名 University name : _____

専攻 Major : _____

学位取得 (見込) 年月 Month and year of receiving master's degree : 西暦 _____ 年 _____ 月
Year Month

学修番号 (都立大所属者のみ記入) Student number : _____

5 現住所 Mailing address

郵便番号 Zip _____ 電話 Phone number _____

住所 Address : _____

履 歴 書 Curriculum vitae

姓名（自国語）

Name in native language _____,
(Family name) (First name) (middle name)

ローマ字

In Roman block capitals _____,
(Family name) (First name) (middle name)

1 学歴 Educational background

日本の教育課程の場合は高等学校から最終学歴（在学中を含む）まで、外国の教育課程の場合は小学校相当から最終学歴（在学中を含む）まで入学年月、卒業（見込）年月共に記入すること。欄が不足する場合は職歴欄を使用してもよい。

(In the case of a foreign curriculum, write both entrance years and graduation years and months above elementary school. If no enough space, write in “Employment history” space.)

学校名 Name of school	在学期間（見込） Period of attendance
	From to
	From to
	From to
	From to
	From to

2 職歴 Employment history

勤務先 Name of employer	会社所在地 Location of employer	在職期間（見込） Period of employment
		From to
		From to
		From to

志願票等記入上の注意事項 (Precautions for filling out application form and curriculum vitae)

- 1 志願者本人が黒又は青のボールペンを使用して楷書で記入してください。なお、※印の欄には記入しないでください。
- 2 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消して訂正してください。
- 3 「性別」欄は、男女の記入をしてください。
- 4 志望領域/分野名及び希望指導教員名は、本要項を参照してください。
- 5 出願後の志望学域等の変更は認めませんので、十分検討の上記入してください。
- 6 志願票と他の記載事項が異なる場合は、志願票により処理しますので、記入にあたっては注意してください。
- 7 記入事項に不備がある場合は、受理できません。
- 8 電話番号は、日中に連絡が取れるところを記入してください。
- 9 年号はすべて西暦で記入してください。



2025 年 10 月入学 東京都立大学 大学院

システムデザイン研究科 社会人特別選抜志願票（博士後期課程）

志願者	フリガナ		国籍	受験番号
	氏 名		(外国人のみ記入)	※
生年月日			性別	年齢
(西暦) 年 月 日			男 ・ 女	才
志望する 学域等 (□にチェックすること)	学 域 名		志望領域/分野・希望指導教員名	
	☐ 情報科学域 ☐ 電子情報システム工学域 ☐ 機械システム工学域 ☐ 航空宇宙システム工学域 ☐ インダストリアルアート学域		領域/分野 教員名：	
出身大学等	国・公・私 立 大学 学部 学科・専攻 コース ((西暦) 年 月 卒業・卒業見込) 【学校所在地】 〒			
現住所	〒			
連絡先	電話番号		メールアドレス	
勤務先	名称・所属		所在地及び電話番号	
	〒		電話 — —	

履歴票

氏 名			
学 歴	年 月	高校	卒業
	年 月	大学	入学
	年 月	大学	卒業
	年 月		
職 歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
備考			

志願票等記入上の注意事項

- 1 志願者本人が黒又は青のボールペンを使用して楷書で記入してください。なお、※印の欄には記入しないでください。
- 2 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消して訂正してください。
- 3 「性別」欄は、男女の記入をしてください。
- 4 志望分野名及び希望指導教員名は、本要項を参照して記入してください。
- 5 出願後の志望学域等の変更は認めませんので、十分検討の上記入してください。
- 6 出身大学については、国公立の別及び学校名を記入してください。また、出身大学の所在地も忘れずに記入してください。
- 7 志願票と他の記載事項が異なる場合は、志願票により処理しますので、記入にあたっては注意してください。
- 8 記入事項に不備がある場合は、受理できません。
- 9 電話番号は、日中に連絡が取れるところを記入してください。
- 10 年号はすべて西暦で記入してください。

【様式2】

2025年10月入学

東京都立大学大学院システムデザイン研究科

博士後期課程

The doctoral program of graduate school of systems design,
Tokyo Metropolitan University

写真票

Photography

志望学域 Department	学域
※ 受験番号 Examinee's number	(記入しない)
選抜区分 (□にチェック) Choose the preferred Selection	☐ 一般選抜 General Selection ☐ 社会人特別選抜 Special Selection for Working Adults ☐ 国費外国人留学生特別選抜 Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship
フリガナ	
氏 名 Name	

【写真貼付欄】

- 3ヵ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真を枠内に貼付してください。
- 縦4cm×横3cm

【ATTACH PHOTO HERE】

- Photo taken within the past 3 months.
- Height 4cm×Width 3cm

切り取らないこと

切り取らないこと

入学考査料証明書添付用紙

Certificate for a Fee Payment by using Web Site

氏 名 Name	
選抜区分 (□にチェック) Choose the preferred Selection	☐ 一般選抜 General Selection ☐ 社会人特別選抜 Special Selection for Working Adults ☐ 国費外国人留学生特別選抜 Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship
志望学域 Department	学域

- (1) ウェブによる支払い
この用紙に「収納証明書」を添付

(2) 入学考査料の免除
該当するものに☑

☐ 自然災害による被災のため、免除申請
⇒出願前に電子メールにてお問い合わせください。
メールアドレス: admission-sd@jmu.ac.jp

☐ 東京都立大学大学院の博士前期課程を2025年3月に修了した者又は2025年9月までに修了見込みの者

※ 受験番号(記入しない) Examinee's number

2025年10月入学

東京都立大学大学院システムデザイン研究科

博士後期課程

The doctoral program of graduate school of systems design,
Tokyo Metropolitan University

受験票

Examination admission card

志望学域 Department	学域
※ 受験番号 Examinee's number	(記入しない)
選抜区分 (□にチェック) Choose the preferred Selection	☐ 一般選抜 General Selection ☐ 社会人特別選抜 Special Selection for Working Adults ☐ 国費外国人留学生特別選抜 Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship
フリガナ	
氏 名 Name	

【注意事項】

- 1 受験票は当日必ず持参してください。
- 2 指定された時刻までに試験室に入室してください。
- 3 自動車(二輪車を含む)で学内へは入場できません。電車、バス等公共交通機関を利用してください。

連絡用宛名用紙

address sheet

住所 Address 〒	
フリガナ	
氏名 Name	様

東京都立大学大学院
システムデザイン研究科
(発送元: 日野キャンパス管理部 学務課教務係)

〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6
電話番号: 042-677-8623

※ 受験番号(記入しない) Examinee's number

受験番号: _____ ※

受験承諾書 Letter of approval

2025 年 10 月入学 東京都立大学大学院システムデザイン研究科（博士後期課程）の学生募集にあたり、

(志願者名) が下記の選抜を受験することを承諾します。

I approve of (Name of applicant) 's application to the following Selection※
(Doctoral program), October 2025.

【選抜 (Selection)】

下記のうちからひとつ選択し、チェックを入れること。

(Choose the preferred Category of Selection.)

☐ 一般選抜

(General Selection)

☐ 社会人特別選抜

(Special Selection for Working Adults)

☐ 国費外国人留学生特別選抜

(Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship)

Date: _____
Year Month Day

署名 Signature: _____

(本学希望指導教員が自筆にて署名すること)

※欄は記入しないでください。

Please do not fill up the blank with ※ mark.

受験番号: _____ ※

研究計画書 Research plan

(枚中 枚)

氏名 Name		希望指導教員 Prospective supervisor	
志望学域 Preferred department		志望領域/分野 Preferred Field/Area	

研究題目の設定について 1. テーマ 2. そのテーマを希望する理由・動機 3. そのテーマに関する研究の状況や背景 4. 研究の目的 5. 考えられる研究の方法 6. その研究の特色の各項目について分かりやすく記載してください。

Please state contents of your prospective research clearly in the following space including 1.title, 2.your motive, 3.research background, 4.objective, 5.method and 6.research features.

※欄は記入しないでください。

Please do not fill up the blank with ※ mark.

受験番号: _____ ※

研 究 業 績 書 Research achievements

Date: _____ , _____ , _____
Year Month Day

氏 名 Name _____

生年月日 Date of birth _____

現 住 所 Permanent address _____

電話番号 Phone number _____

研究論文、特許・実用新案、技術報告、学術講演、作品発表等を有する場合は、添付すること。
Please attach research papers, patents, utility models, technical reports, academic presentations, and exhibitions, if any.

年 月 Year Month	内 容 Description
	論文等の名称、発行所・発表雑誌・発表学会等の名称、単・共著の別、論文等の概要説明を100～150字程度で分かりやすく記載してください。 For published research papers/articles, state the title, name of the publisher/journal/conference, names of authors, and a brief explanation within 150 words for each publication.

※欄は記入しないでください。

Please do not fill up the blank with ※mark.

受験番号: _____ ※

業 務 経 歴 書

(西暦) 年 月 日

氏 名 _____

生年月日 _____

現 住 所 _____

電話番号 _____

職 歴			
(在職中に行った職務・研究・開発等の内容が分かるように詳しく記載してください。)			
現在の勤務先		〒	電話
(西暦)	年 月	事 項	
自	年 月		
至	年 月		
自	年 月		
至	年 月		
自	年 月		
至	年 月		
自	年 月		
至	年 月		
(その他特記事項がある場合は、記入してください。)			

※欄は記入しないでください。

受験番号: _____ ※

推 薦 書

(西暦) 年 月 日

所在地

会社名

役職

推薦者

2025 年 10 月入学 東京都立大学大学院システムデザイン研究科（博士後期課程）学生募集にあたり、志願者（氏名）_____を下記のとおり、本人の所属長（職）_____（氏名）_____とともに推薦します。

記

志願者	氏 名	
	生 年 月 日	(西暦)
	現 住 所	
	電 話 番 号	
志望する学域 及び希望指導教員		学域
推薦理由（本学に期待する事項、志願者の性格・能力等、在職中の評価・将来性その他）		
紙面が足りない場合は、裏面に記入してください。		

※欄は記入しないでください。

（注）「出身大学の指導教員又は本人をよく知る者」が記載する場合は、推薦者欄にはこの推薦書記入者の氏名を記入し、文中の所属長欄は空欄にしてください。

Date: Year Month Day

Pledge

Dear President of Tokyo Metropolitan University:

Full name: _____

(Signature) _____

I hereby pledge to comply with the following items regarding my enrollment or employment by Tokyo Metropolitan University.

1. During enrollment or employment at Tokyo Metropolitan University, I will neither provide nor carry out any property belonging to the University without permission. In any of the following cases, I will consult my supervisor (i.e., the academic staff accepting me as a student or a researcher) and, if necessary, follow the prescribed procedures based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, related laws, regulations established by the Government of Japan.

In the event I wish to provide research-related technology information during enrollment or employment in a foreign country after withdrawing from or leaving Tokyo Metropolitan University or I wish to provide such information to a nonresident or a resident who is under the significant influence of a nonresident (a person who falls under a “specific category”)	☐ I take the prescribed procedures	☐ NOT
In the case where I wish to export (sending to foreign countries or bringing out, etc.) devices or materials used in my research or tangible objects gained from the research to foreign countries during enrollment or employment or any as such at Tokyo Metropolitan University or it becomes obvious during this period that I may export the aforesaid items after withdrawing or leaving from Tokyo Metropolitan University.	☐ I take the prescribed procedures	☐ NOT

2. I will not use the technical information obtained from research for the development, production, use, or storage of weapons of mass destruction (WMD) (nuclear weapons, chemical weapons, biological weapons, WMD delivery systems, such as missiles, and unmanned aerial vehicles), conventional weapons, or materials, components, or products used in these weapons. I will use such technical information only for civil purposes.

I also report the following regarding the Applicability of the Specific Categories.

- ☐ fall under the category (1) .
- ☐ fall under the category (2) .
- ☐ fall under the category (3).
- ☐ DO NOT fall under any of the categories.

※ Regarding to the “Specific Categories” , please refer to Page 4 of

https://www.meti.go.jp/policy/ampo/law_document/minashi/en_daigaku_.pdf .

誓約書

東京都立大学 学長殿

私は、貴学に入学（採用）等の上は、下記事項を遵守することを誓約します。

1 在学（在職）中、無断で大学の所有物の提供及び学外への持ち出しを行いません。次のいずれかに該当する場合には、指導教員（受入教員）に相談するとともに、必要な場合には日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法及びこれに基づく関係法令に従い所定の手続を行います。

研究上の技術情報を在学（在職）中または、修了（退職）後に外国において提供し、もしくは非居住者もしくは非居住者の影響を強く受けている居住者（「特定類型」に該当する者）に対して提供しようとする場合	はい ☐	いいえ ☐
研究上の使用機器、使用材料もしくは研究の結果得られた有体物を在学（在職）中または、修了（退職）後に外国に輸出しようとする場合	はい ☐	いいえ ☐

2 研究上の技術情報を、大量破壊兵器等（核兵器、化学兵器、生物兵器、ロボット、無人航空機等）、通常兵器又はこれらに使用される材料・部品・製品の開発、製造、使用または貯蔵に用いず、当該技術情報の使用は民生用途に限りません。

また、私は特定類型該当性について、下記のとおり報告します。

☐ ①に該当します。 ☐ ②に該当します。 ☐ ③に該当します。
☐ いずれにも該当しません。

※「特定類型」については、
https://www.meti.go.jp/policy/anpo/law_document/minashi/jp_daigaku.pdf の4頁を参照してください。

年 月 日

氏名 _____

Date: Year 20XX Month 5 Day 1

Pledge

Dear President of Tokyo Metropolitan University:

Full name: Taro Tokyo

(Signature) Taro Tokyo

Please sign your name in your
own handwriting.

I hereby pledge to comply with the laws, regulations, and policies of Tokyo Metropolitan University regarding my enrollment or employment by Tokyo Metropolitan University.

Check 'Yes' if you comply with the Tokyo
Metropolitan Public University
Corporation Security Export Control

1. During enrollment or employment at Tokyo Metropolitan University, I will not use the property belonging to the University without permission. In an emergency, I will follow the instructions of my supervisor (i.e., the academic staff accepting me as a student or a research assistant). If necessary, I will follow the prescribed procedures based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other laws, regulations established by the Government of Japan.

In the event I wish to provide research-related technology information during enrollment or employment in a foreign country after withdrawing from or leaving Tokyo Metropolitan University or I wish to provide such information to a nonresident or a resident who is under the significant influence of a nonresident (a person who falls under a “specific category”)	☒ I take the prescribed procedures	☐ NOT
In the case where I wish to export (sending to foreign countries or bringing out, etc.) devices or materials used in my research or tangible objects gained from the research to foreign countries during enrollment or employment or any as such at Tokyo Metropolitan University or it becomes obvious during this period that I may export the aforesaid items after withdrawing or leaving from Tokyo Metropolitan University.	☒ I take the prescribed procedures	☐ NOT

2. I will not use the technical information obtained from research for the development, production, use, or storage of weapons of mass destruction, chemical weapons, biological weapons, WMD delivery systems, such as unmanned aerial vehicles, conventional weapons, or materials, components, or products used in these weapons. I will use such technical information only for civil purposes.

Please check the items that
apply to you.

I also report the following regarding the Applicability of the Specific Categories.

- ☐ fall under the category (1) .
- ☐ fall under the category (2) .
- ☐ fall under the category (3).
- ☒ DO NOT fall under any of the categories.

※ Regarding to the “Specific Categories” , please refer to Page 4 of
https://www.meti.go.jp/policy/ampo/law_document/minashi/en_daigaku_.pdf.

誓約書

東京都立大学 学長殿

私は、貴学に入学（採用）等の上は、下記事項を遵守する

東京都公立大学法人安全保障
輸出管理規程を遵守する場合
には、「はい」にチェックを
してください。

1 在学（在職）中、無断で大学の所有物の提供及び学外への提供をしない。次のいずれかに該当する場合には、指導教員（受入教員）の承認を得るとともに、必要な場合には日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法及びこれに基づく関係法令に従い所定の手続を行います。

研究上の技術情報を在学（在職）中または、修了（退職）後に外国において提供し、もしくは非居住者もしくは非居住者の影響を強く受けている居住者（「特定類型」に該当する者）に対して提供しようとする場合	はい ☒	いいえ ☐
研究上の使用機器、使用材料もしくは研究の結果得られた有体物を在学（在職）中または、修了（退職）後に外国に輸出しようとする場合	はい ☒	いいえ ☐

2 研究上の技術情報を、大量破壊物質（核物質、化学物質、生物兵器、ロケット、無人航空機等）、通常兵器又は放射性物質、原子力燃料、原子力機器、原子力設備、原子力施設、原子力施設の一部、原子力施設の廃止、製造、使用または貯蔵に用いず、

自分が当てはまるものにチェックを入れてください。

また、私は特定類型該当性について、下記のとおり報告します。

☐ ①に該当します。 ☐ ②に該当します。 ☐ ③に該当します。

☒ いずれにも該当しません。

※「特定類型」については、

https://www.meti.go.jp/policy/ampo/law_document/minashi/jp_daigaku.pdf の4頁を参照してください。

自筆でサインをしてください。

20xx年 5月 1日

氏名

東京太郎

日本語版か英語版のどちらか一つを提出してください。

Please submit either the Japanese or English version.

連絡及び問い合わせ先

〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6

東京都立大学日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当

電話番号：042-585-8623（ダイヤルイン）

メールアドレス：admission-sd@jmj.tmu.ac.jp

※東京都立大学ホームページ <https://www.tmu.ac.jp/>

※システムデザイン研究科ホームページ <https://www.sd.tmu.ac.jp/>

2025 年 10 月入学

東京都立大学大学院システムデザイン研究科
学生募集要項（博士後期課程）

2025 年 4 月発行

編集・発行 東京都公立大学法人
東京都立大学日野キャンパス管理部学務課
〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6
電話番号：042-585-8623（ダイヤルイン）